

# Topic

## COLUMN: 先生紹介 ▶ 藤岡 啓太 (諸口教室)



はじめまして、こんにちは。諸口教室で集団クラスの担当をしている藤岡啓太です。まず、簡単な自己紹介をさせていただきます。僕は四條畷高校出身で、現在は同志社大学の生命医科学部に在籍しており将来の夢のため勉学に励んでいます。カイチでは主に数学を教えています。実は中学生のとき一番の得意科目は理科でした。昨年の4月から非常勤講師として働いていますが、今まで教えてもらった自分が生徒の前に立ち、教える側になっていることにはとても不思議な感覚を持ちました。初めての授業で緊張して焦ってしまったことは忘れもしません。そして、今でも生徒から「先生」と呼ばれることに違和感を持ってしまいます。こんな僕ですが、今回はおそらく苦手な人が多いであろう「数学」について自身の勉強法を交えながらお話ししたいと思います。

先程も話しましたが、数学に苦手意識を持っている生徒は多いと思います。実際に生徒が「数学なんか嫌い!」と口に出しているのをよく耳にします。しかし、そのような子達も勉強の仕方を変えていけば、数学が好きにはならずとも苦手意識の克服

服はできるのではないかと僕は考えています。まず、僕は数学でわからない問題に出会ったときすぐに解説を見ないようにして、必ず20分ほど考えるようにしています。それでもわからないときにやっと解説を見て理解します。解説を見てもわからないときは先生や友達に聞いてください。ここまでは自分も同じようにしていると思った人も少なくないと思います。しかし、僕が一番大事にしているのは次の過程です。それは解説を見て「なぜこの問題を自分は解けなかったのか」「なぜこのような考え方にたどり着いたのか」「意識すべきポイントはどこなのか」を考えることです。難しい問題になればなるほど時間をかけて考えます。ノートにまとめてみるのも良いかもしれません。解説を見て理解するだけの人は同じ問題をもう一度時間をおいて解いてみると実感すると思いますが、理解したはずの問題が解けなくなっているはず。これは「暗記数学」になってしまっていて定期テストでは有効かもしれませんが、入試問題などで必要な「真の数学力」を養えないように思います。数学は1問から吸収できる知識や考え方が特に多い科目だと思うので、ぜひこの過程を大事にしてみてください。自分の力で問題を解けたときの嬉しさは格別です。考える習慣がつき数をこなしたことが、自身の経験となりその経験が初見の問題を解くときの「ひらめき」につながってくれたと僕は感じています。もちろん勉強法に

絶対正しいというものはありませんので、自分なりの勉強法を確立してみてください。

最後になりますが、僕は元カイチの生徒ではありませんでした。しかし、子供達が切磋琢磨している姿や休憩時間に楽しく談笑している姿を見て「自分も中学生のときカイチの生徒だったらなあ」と思うことがたくさんありました。このカイチという温かい環境の中で子供達と共に楽しく、時には厳しく成長していきたいと思っています。まだまだ日々の授業の中で反省点は多いですが精一杯頑張りますのでよろしくお祈りします。



## 福井の ちょっと いい話

TEACHER'S VOICE 福井 幸司 (関目教室)

### 「頑張れるのは目標が明確だから」

生徒達は私立高校を受験するために、本当によく頑張りました。では、中3生達は何をきっかけに頑張るようになったのでしょうか。「中3になったから」、「クラブを引退して時間ができたから」どちらも1つの要素にはなるかもしれませんが、大きな理由ではないと思います。

頑張るようになったのは「目標が明確に定まったから」です。

目標が定まると、そこから現在の自分の力との隔たりが分かります。ただ漠然と頑張るのではなく、解決すべきことがはっきりしている方が工夫や努力のしがいがあります。

例えば授業後の二者面談で、生徒と一緒に過去問の問題と答案を見ながら対策を考える場面がありました。「○○高校は毎年2次関数の変域

の応用問題が出ていて、そこを正解できていない。それほど難しい問題ではないから、作問で弱点を潰そう」という結論に達し、すぐに弱点対策の問題を作成し、合格基準点との差を埋めていきました。

このような光景は、どの教科の担当の先生にも見られます。勉強のやり方やスケジュールの立て方を中1から訓練し、これらのスキルを身に付けたカイチ生ならではの受験勉強のやり方だと思います。私がカイチに入社して初めて担当した中3生の中には、自ら弱点を分析し、小学校レベルにまで遡った作問を依頼してきた生徒がいて、驚かされたことを今でも覚えています。

カイチの中3生は本当にたくましいと思います。入試に合格することが目的ではありませんが、入試に対して全力で取り組むという経験を通して獲得

するスキルであったり、心の強さであったり、そういったものが生徒達の将来の宝になるのです。また、本気で努力をした経験がある者だけが、他者の努力を理解することができ、それが優しく思いやりの心につながっていくのだと思います。

このGROWINGが皆さんの目に触れる頃には公立入試は終わっています。合格発表の日、みんなの満面の笑顔が見られることを心から祈っています。



## 生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

# Growing

March 2018  
Vol. 67  
毎月10日発行

【本部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	【今福第2教室】 城東区今福西2-16-8 TEL.06-6931-2000
【今福教室】 城東区今福西2-9-20 TEL.06-6934-4662	【関目教室】 城東区関目4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【諸口教室】 鶴見区諸口4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【古市教室】 城東区古市3-21-8 TEL.06-6931-0467
【今津教室】 鶴見区今津南1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	



高木 秀章 (塾長)

## 155名、私立全員合格! おめでとうございます。 公立入試傾向の変化と求められる力

少しずつ温かくなり、春の訪れを感じる今日この頃です。私立入試が2月10日に行われ、無事155名の生徒達全員が合格しました。受験生の皆さん、おめでとうございます。

私立入試結果の詳細については、挟み込み資料で詳しくお知らせしていますが、塾生の約3人に1人が偏差値60以上(併願者は進研模試の併願偏差値で換算)の高校に合格、また全体で12人の生徒が待生で合格するなど、素晴らしい結果であったと思います。

手放して喜びを分かち合いたいところですが、私がこのGROWINGを書いている今は、本命の公立高校合格を目指し、最後の追い込みの真最中。受験生達は毎週、公立過去問題のプレテストを受験し、結果と内申点から志望校の合格判定や不足点を算出し対策指導を行います。生徒達はこのテスト結果から、自分の仕上がり具合を確認し、弱点単元や問題の補強に日々取り組んでいます。

公立入試問題は、昨年度より問題傾向が大きく変わりました。以前よりも問題量が増えた上、配点の高い記述問題が出題され、英語の最もレベルの高いC問題では英検2級レベル(高校英語レベル)のリスニング問題が出題されます。

公立合格のカギは、このテスト傾向にいかに対応できるかにかかっています。受験生達は、日々この試験問題の攻略に取り組んでいます。皆さんも数年後には受験することになる公立入試。それは一体どのような力が問われたテストなのか。公立入試合格のために必要な3つの力をお伝えします。

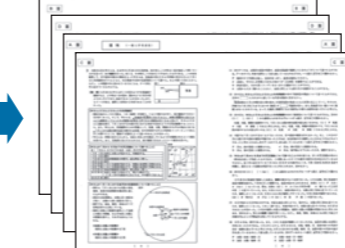
### 必要な力1 早く読み、理解する力

平成26年度後期試験(理科)



2枚

平成28年度一般入学者選抜(理科)



4枚

公立入試でまず驚くのは問題分量の多さです。これは、入試問題の大幅改訂が行われた昨年度とそれ以前との間で特に異なる点です。上記右の4枚の理科の入試問題に与えられる時間は僅か40分。また、英語においても最も難しいC問題では、出題単語数が600語から860語のおよそ1.5倍近くに増え、制限時間の30分で全てを解き切らなければなりません。そのためには、英文を止まることなく、読み流して理解する、長文読解

への慣れも必要です。公立入試は時間との戦い。普段の学習から、ストップウォッチで時間を計り、制限時間内で問題を解くトレーニングをしておく必要があります。

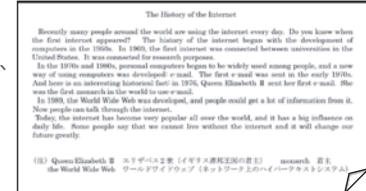
### 必要な力2 早く論理的に記述する力 平成28年度一般入学者選抜(国語)

右は国語の入試問題からの抜粋ですが、300字の記述問題で、配点は90点満点中の20点。合否を十分左右する高配点の問題です。この問題に試験中使える時間は約15分。構成3分・記述9分・見直し3分で解く必要があります。内容は抽象度が高く、大人でも理解するのに時間がかかる難問です。塾内では小学部から記述トレーニングや要約に取り組んでいますが、ご家庭でも、普段から新聞の社説や天声人語などを読み、それらの内容(特に社説などに)に対して意見をまとめるトレーニングをする必要があります。もちろん、この際も時間を計る必要があります。



### 必要な力3 英語のリスニング力

右は英語のリスニング問題の一部ですが、右の文章を1分で読み、その後7分にも及ぶ、2人の会話内容のロングリスニングを聞き、指定された人物の意見を英文でまとめます。右の文章を1分で読むのも大変ですが、7分のリスニング内容を理解し、内容を記憶しておくことはより大変です。レベルは英検2級相当。このテスト問題のレベルの高さからも、日本が如何に子供達の英語力強化を急いでいるのか、子供達の英語力向上に対する社会の要請が如何に強いかを伺うことができます。カイチでは3月より、小学部・中学部との併学に関してトーキングキッズや英検対策講座の授業料を半額にさせていただいていますが、これは、早期から、4技能(読む・書く・聞く・話す)重視の英語に取り組むことが、子供達の受験を含めた進路を大きく左右することになるという考えからです。



受験生達がいかに厳しい受験を戦っているかが分かったと思います。そして、これが、皆さんがこれから立ち向かう受験の正体です。求められる力は、従来の暗記のような一朝一夕で身に付くものだけでなく、継続的な努力によって獲得する力です。新中3生はもちろん、それ以外の学年の人達も、上記の学習法を少しずつでも実践し、将来の受験に備えてもらえればと思います。

### カイチからのお知らせ

- 3月12日(月)は公立入試です。受験生の皆さんガンバレ!
- 3月20日(火)は公立入試合格発表日です。
- 3月24日(土)~3月30日(金)は春期休塾日です。
- 4月2日(月)より春期講習会スタートです。

## Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

一緒に読んで一緒に楽しさを共有する  
読書時間

マナロ 恭子 (バスカルキッズ 上本町教室)

バスカルキッズ上本町教室の生徒達は、バスカルキッズ生だけでなく、小学受験クラスやトーキングキッズの生徒達も本が大好きな様子です。「お持ち帰りは1冊まで!」と毎回言うのですが、1冊では全然満足できずどうしても2〜3冊持って帰る生徒も何人かいます。トーキングキッズの生徒達は、お母さんが駐車場で帰りを待っているのにも関わらず、いつも10〜15分本を読んでもから教室を出ていきます。お母さんも仕方ないと待っていてくれるようです。お母さんが英語を少し話せるところは、英語の絵本も借りていかれたり、トーキングキッズ生も英文を読めるようになってきているので、これからは英語の絵本もどんどん増やしていくと思っています。

去年の10月に入塾した年中の男の子は、入塾時に最近お家で「あいうえお」の練習を始めたところだと聞き、絵本はまだ自分で読めなかったのですが、半年経った今は、読書時間に自分で絵本を読むようになり、作文も少しずつ書けるようになってきました。読書時間に読み聞かせをしたり、少しずつ自分で読ませたりするだけの簡単な指導でも、子供達はいつの間にか自分で本を読めるようになっていっているもので、子供の成長って早いなぁと実感させられます。でも、そうなるには、「本が好き!」という気持ちが重要不可欠です。

上本町教室では、子供達に「本が好き!」と思ってもらえるように、小学受験クラスの山内先生と一緒に本選びに力を入れています。電車好きの男の子のために電車図鑑や、大阪〜京都〜奈良を

走る電車の物語を用意したり、物語があまり好きではない生徒のためには、漢字の絵本や、地図の絵本があったり、『秘密の花園』を読んで「すごく楽しかった!」と聞けば、『若草物語』や『赤毛のアン』を入荷します。

もちろん、「自分で読みたいかな〜い。先生読んで!」と、自分で読めるのに、読むのが嫌いな生徒もいます。また、「読みたい本が〜い」と言ってなかなか選ぼうとしない子もいます。そういう生徒達のために、こんな手をよく使います。「今日は、紹介したい本があるので皆に読み聞かせをします。」と言って面白い本を用意します。そして3分の1のところまで「今日はここまで!」と終わります。すると子供達は続きが気になるので「えー!!全部読んでほしい!」と口々に言いますが、絶対に読みません。そうすると、その日のレッスン後から2〜3週間はその本が本棚から見当たらなくなります。次々に借りられて入手困難になるのです。

私も子供の頃は本が好きではなかったので、本嫌いな子供の気持ちもよく分かります。子供達は、本を選ぶときに「読みたいか」「読みたくなかないか」を外見で判断するようで、外見で却下されたものは、なかなか手に取ってくれないのでこのように本の中身を少し紹介する時間を持つようにしました。

2月に入ってからは、学年の最後ということもあり、1年〜3年生の生徒には、読書時間に『走れメロス』を皆で音読しています。本が好きと言ってもまだまだ読解力はあるとは言えません。解説を少しずつ入れ、物語の進行を理解していきながら、メ

ロスの気持ちになってセリフを言ってみたり、登場人物の心情を問いかけながら少しずつ音読を進めています。親友のために人質になるか、ならないか、自分だったらどうするかと聞くと「絶対ならん!」という生徒が殆どの中、本気で悩んで困ってしまう1年生もいました。きっと大好きな親友のことを思い浮かべたのかも知れません。

私の祖母も祖父も本好きで、家には床が落ちてしまうのではないかと思うほどの本棚がぎっしり部屋の壁という壁に並んでいました。そして何度も「本をたくさん読みなさい」と言われ続けてきましたが、本の楽しさに気付いたのは社会人になってからでした。それに比べて子供の頃から好きだった友達は、話すのが上手だったり、文章を書くのが得意だったりするので、子供の頃から本を読んでおけばよかったとつくづく後悔しています。

いくら「本を読め」と言われても、読もうとしない子供の気持ちはよく分かります。だから上本町教室では、皆が好きなのを題材にした本をできるだけ取り入れて、一緒に読んでみて、一緒に楽しさを共有する時間を持っていきたいと思います。



## 上本町学年別ベスト3

## 幼稚園

## 1位 でっこりぽっこり

いくら「面白いよ!」と動いても手に取ってもらえなかった1冊。巨人の歩いたあとには、足跡がつき地面がへっこむ。へっこんだ裏側はつぶる。たった3ページ読んだだけで子供達の表情が変わりました。



## 2位 ぜったいにおしやダマ?

何があっても絶対に押しちゃだめなボタンが毎ページ現れ、読者に押しせよとします。真面目な子はそれでも押さない。でも押してくれないと物語が始まりません。1ページ目は先生と生徒の戦いでした。「ちょっとだけ押ししてみよ!面白いことがおこりそうよ!」



## 3位 チーター大セール

あんまりお客の来ないチーターの店に久しぶりに来たお客さんは、「あなたの模様をください!」と。びっくり!だけどせっかくだから売ることにしたチーター。模様のなくなったチーターはどうする? 何度読んでも飽きないらしく、こればかり読む子が続出!



## 小1

## 1位 やぎざかなののろい

焼き魚が嫌いで晩御飯を残した男の子。ある夜、焼き魚にどこまでも追いかけることになる。ちょっと恐ろしいところがゾクゾクするらしい。最後のオチが面白くて何度も読んでしまう1冊。



## 2位 おしりたんてい

子供達に大人気のおしりたんていシリーズ。そろそろ絵本を卒業してほしいけど、児童書はまだ手に取りにくい子供達に動める1冊。ところどころクイズも入っているから少々長くても読んでしまおう。(マンガではありません。)



## 3位 まほうのじどうはんばいき

学校の帰りに見つけた自動販売機。ボタンを押すとその時に自分に必要なものが何でも出てくる。ある日、お母さんが見つけてボタンを押すと自動販売機が姿を消してしまっ!このお話の終わり方について主人公の気持ちや、お母さんの立場になって考えるというとても良い話し合いができました。



## 小2・小3

## 1位 ナイチンゲール

女子に大人気のナイチンゲール。この本がいちばん好きと言った3人中2人の将来の夢は医者と看護師でした。将来の夢が看護師でなくてもナイチンゲールの生き方には本当に憧れます。これを読んで他の伝記にも目を向けるようになりました。



## 2位 西遊記

2〜3年生でも、まだ絵本ばかり手に取る子が多いのですが、これを入荷すると手にする生徒が増えました。ドラゴンボールっぽいところに魅かれるみたいですが、いろんな悪役と戦うところがかっこよく、短い読書時間でも物語に入り込んでいる姿が見られます。



## 3位 ごきげんいかががちょうおくさん

目立ちたがり屋で、忘れっぽくて、思いついたことを何の考えもなしに実行して、森の仲間にもられるがちょうのおくさん。短い話が6話ぐらい入っているのですが、「どれが面白かった?」「それはどんな話?」と他の生徒達にも聞かされると、必ず「次貸して。」となります。



## Education

## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



熊谷 真宏 (カイチ予備校)

## カイチ予備校始まります

今年4月より大学受験合格を目指す高校生専門校舎、カイチ予備校が開校します。これまで、バスカル☆キッズ、そろばん、学習部(小学)、学習部(中学)と、多くの方にカイチで学んできていただくと、「高校生になってもカイチに通いたい」というお声をたくさんいただいてきました。私達としても、せっかくカイチで学び、見事に高校に合格していった生徒のみなさんの期待に応えたいと、大学入試のための予備校を開校しようと5年ほど前から検討を重ねてまいりました。今回、ようやく万全の体制を整えることができ、予備校の開校を決意しました。

ありがたいことに、内部生の方に簡単なお知らせを配布したところ、40名定員のカイチ予備校に、すでに25名のお申し込みをいただき、スタッフ一同、驚きと同時に皆様からのご期待に身が引き締まる思いをしています。

カイチ予備校の特徴は次の3つです。

- ◎大学入試に精通した一流の講師陣です。
- ◎英数2教科の授業を基本とし、授業料は中学部と同程度
- ◎教科内容だけでなく、学習法についても指導します。

特に「学習法についての指導」は、カイチ予備校の大きな特徴になります。ここには、私達の次のような思いがあります。中学校時代にきちんと勉強してきた優秀な生徒がトップ高校に合格したにもかかわらず、結局高校では伸び悩み難関大レベルに全くとどかない、というケースが世の



▲城東商店街のど真ん中で浪速感満載! 蒲生4丁目から徒歩3分です。

中では大多数です。これは、残念なことだし、極めてもったいないことです。「この子なら難関大に合格できるのに!」と感じる子が、大学受験では全く結果を出せないことが多いのです。

結局、高校での学習を軌道に乗せ、大学入試で結果を出すためのポイントは、次の2点です。

- ポイントその1:  
早い時期から(高校1年生から)  
コツコツ勉強する

これは、何も「高校生になったらクラブ活動もせずガリガリ勉強しろ」という話ではありません。「塾のない日は1日2時間自宅学習をする」「定期テスト前は、集中してテスト対策をする」というような、単純なこと。高校受験を経験した人なら、中学校時代はきちんとできていたはず。ところが、高校生になるとこれができない人が圧倒的に多いのです。

「やっぱり家では勉強できない」「定期テスト前に何したらよいのかわからない」そんな不安を解消できる場所にカイチ予備校はなりたいたいと考えています。

- ポイントその2:  
正しい学習方法で勉強する

これは、「高校で与えられた問題集を活用しながら」「普段の一つ一つの勉強が大学入試につながるように学習する」ということです。要は、垂れ流しにならないように勉強する、ということで



▲カイチ予備校のエントランス

す。ただ、この「正しい学習方法」を自分一人でする。ただ、この「正しい学習方法」を自分一人でする。

中学生の時に「先生から与えられたものをこなしていけば、高校には自然と合格できた」という人は特に注意が必要です。高校では「学校の先生によって進度も様々」「教科書を使わない先生もいる」という状況の中で、中学よりも格段に多くの学習事項が入ってきます。カイチ予備校では、通っている高校の授業の状況、それぞれの学力、志望大学に合わせて、科目ごとの学習戦略を、教材作成のプロである予備校の先生と一緒に進めることができます。

カイチ予備校は、経験豊富な講師陣だけでなく、早い時期から、学習計画を立て、学校での学習を活かしたムダのない学習法を身に付けながら、戦略的に志望校合格を目指す、全く新しい形の予備校です。

塾生の皆さんがカイチ予備校に来るのはしばらく先のこととなりますが、私達が大学入試専門校舎を持つことで、大学入試を見据えた、幼児からの一貫した指導システムやカリキュラム作りを進めていきます。そして、そのことが、激変する教育制度に対応し、子供達や保護者の方々に安心して通っていただく塾作りを行う上で大切なことと考えております。

カイチ予備校の校舎は、城東商店街のど真ん中。決しておしゃれでもなく、設備も抜群とはいきません。ただ、教科面でも学習法の面でも、最高の指導をお約束いたします。どうかこれから宜しく願いいたします。



▲工事はこれから。3月末に完成します。